

令和7年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
「不登校やひきこもりの初期介入支援と自立支援サポート事業」



研修会：講師：山根俊恵氏
安心が生まれる場所づくり～「家族支援」からはじまる回復の一步～
報告書

- 1、開催日時：令和7年7月13日（日曜日）
- 2、開催場所：県電ホール
- 3、参加者数：70名
- 4、テーマ
第1部：講演 安心が生まれる場所づくり～「家族支援」からはじまる回復の一步～
第2部：トークセッション・質疑応答

アンケートの分析結果（41名）

1. 満足度の傾向

【山根俊恵氏の講演】

- ・「とても満足」や「満足」と答えた方が圧倒的多数。
- ・「とても満足」>「満足」の順で多く、講演への評価は非常に高いことがわかります。

【トークセッション】

- ・こちらも「とても満足」「満足」が大多数。
- ・講演と同様に高評価が目立ち、内容の充実がうかがえます。

2. 自由記述コメントの傾向

【山根俊恵氏の講演コメント】

- ・ 実例を交えた具体的な話が分かりやすかったとの声が多数。
- ・ 「以前にも参加して今回もありがたい」というリピーターからの感謝の声もあり、継続参加者の満足度も高いと推測されます。

【トークセッションコメント】

- ・ 「当事者の体験談が聞けた」「引きこもり支援の現場のリアルな声が聞けた」など、多様な立場の話が貴重という意見が多くありました。

【イベント全体に対する感想】

- ・ 「幅広い年代・立場の事例から学べた」「第1～2回も参加したかった」など、内容の充実さと継続性への関心が高いです。
- ・ 「密度が高い」「貴重な機会」という評価も多数。

【主催法人へのメッセージ】

- ・ 「ボランティアにも関わりたい」「企画への感謝」といった積極的なメッセージが多く、参加者の意欲と関心の高さがうかがえます。
- ・ 代表メッセージへの感動を記す声もあり、主催側の想いが参加者に届いています。

3. 属性情報の補足

- ・ 性別・年代は20代～70代までと幅広く、女性の参加がやや多め。
- ・ 地域も宮崎市を中心に、日向市・日南市など近隣からの参加者が目立ちます。
- ・ 「知ったきっかけ」は「ちらし」「家族会」「学校」など多様で、特に学校・関係団体からの紹介が多い点は今後の広報戦略に役立ちます。

4. 総括と提案

- ・ 全体として非常に高評価で、講演・トークともに満足度が高い研修会だったことが明らかです。
- ・ 実例、体験談の共有が特に好評であり、今後の企画にも引き続き「実践的」「具体的」な内容が求められます。
- ・ 次回案内時には「前回好評だったトークセッション」などとPRすると効果的です。
- ・ メッセージ欄には積極的な関与を望む声もあり、今後のボランティア募集や運営協力依頼に活用可能です。

アンケート自由記述のコメント



1. 山根俊恵氏講演へのコメント

- 事例を挙げての説明であったため、状況や関わりが具体的で分りやすかった。
- 以前、先生の研修会に参加したことがあり、今回も運よく参加の出来たことに感謝いたします。
- ひきこもり支援についての多くの学びを得ることが出来ました。本当にありがとうございます。
- 対処事例が具体的で、良い情報が共有できた。
- 共感が大切だと頭では理解できているが実際はどうなのか、自分の行動を見つめなおすことができた。
- 家族支援のこと、こうあるべきではなく本人がどう思っているか、否定しない等。ひきこもりの人への対応が勉強になった。
- 様々な事例をまじえてお話いただき、支援のイメージが沸きました。
- あくまでも本人の意思・意見を尊重すること、その為の関わり方や心持ちについて知ることができた。
- 本当にありがとうございます御座いました。寄り添う気持と言うことを再確認させて頂いた気がします。
- 以前暴言を吐き（死、殺せと）親の私が助けてほしいとコスモス会親の会へ、そこで「本人が一番大変なんですよ」と月に1日の例会に出て親を助けてと思って入会したのが、本人が辛いと気づいて娘に申し訳なかったと話した時、なぐらなかつたのは、「敵ではない」と思ってくれたのかなと思いました。いま娘もコスモス会の活動だけには参加する意味がわかりました。
- 本人のやりたい事を尊重すると言われたのはそうだなと思いましたが、その方向がゲームだったりする場合、むずかしいなと思いました。
- 親への支援が第一である事が理解できた。
- 不登校児のお宅へ訪問しているため、関わり方の見直しができました。
- 具体的な事例が多く、わかりやすかった。
- 初めて聞くことが多かった。
- コミュニケーションの上で、「共感する事」の重要性を知りました。
- 様々な事例と支援されてきた状況を伺うことができ、とても勉強になりました。

本人の思いを聞くことの大切さ、そのまま見守るだけでなく社会との接点を共に準備していく必要があるというお話に共感できました。

- 否定しない支援。
- 家族が相談したいと思ってもらえるように、また本人さんにつながれるように信頼関係の構築が大事と、再認識した。本人を理解したいと考えること、共感することが大事と感じた。
- 支援者として、今後の関わり方の知識を得られ、ヒントになった。
- 具体的な事例を出してお話があり勉強になった。
- アウトリーチなど行っている中で、ご家族の気持ちを理解しつつ、本人の苦しい部分がどこにあるのか。そこを把握しようとしていても、否定につながっていたりする。本人が何に困っているのか苦痛なのかを知る。自宅、本人の居場所、安全な場所（環境）をくずさないよう支援。
- 具体的な支援内容、事例があって分かりやすかった。
- SNS 等以外の具体的なケース（事例）についての話をきけた。段階をふまえての支援が重要だと感じた。
- こんなに真剣に向き合ってくださっている方がいることにすごく感動しました。うれしい気持ちになりました。
- 内容がとてもわかり易かった、質問に対してとても丁寧に答えて下さった。
- 事例が多く興味深くきくことができました。
- 同じ事例を何件もかかえており参考になりました。特にどのように親と信頼関係を結び共感するか参考になりました。
- 家族支援の大切さ、関り方の難しさを感じた。
- 家族支援について他研修でも学んだが、今回の研修で事例も聞くことができ理解できた。
- 回復の一步支援、親に替わり本人が決める。必要に応じて服薬、本人によりそった支援。

2. トークセッションへのコメント



- 引きこもり経験、支援の経験について聞く貴重な時間になった。
- 様々な方々のお話を聴けてとても勉強になりました。
- 体験談が聞けたこと。
- 具体的な声かけの例などが出てきてよかったです。
- 行政は本人から連絡がないと動けませんという事を良くいわれます。本人が話かけられる状態でもなく、今の状況が話せないのにといつも歯がゆく思ってます。
- 実際がよくわかった。
- 実際の事例を通じてのセッションであり、分かりやすかったです。
- リアルな課題に対しての対処方法など非常に参考になった。
- 会場との双方向の質疑応答も参考になった。
- 主体は本人。
- 当事者の方が今研修されていることが、とても大切なことだと思いました。
- 不登校の児童の関わりについても参考になりました。
- 事例など、実際の話でわかりやすかった。
- SSTの振り返りにもなる、気づきができた。
- 下り藤さんの話で説得力があった。参考になった。
- 理解者が1人でもいると本人が前に進めるという話が心に残った。
- 実際にケアマネとしての立場であり当事者でもあった方の話。地域で支える民生委員さんの支援、それに対する助言、具体策、確認ができた。
- 質問を事前に、付箋に書くというのが良かった。手を挙げにくい人も質問できる。
- 支援してる側のお話を聞けたのと、児童委員さんで寄り添っておられる方のお話もきけて良かったです。
- 具体的な話を聞いて良かったです。
- 支援の力が大きくなりました。

3. イベント全体へのコメント

- 今回は貴重な機会ですごく良い学びになりました。児童から成人の方まで幅広い事例をもとに話を聞くことができて分かりやすかったです。
- とてもすばらしい研修会でした。本当にありがとうございます
- いきなりのアウトリーチは、そもそも敵なのでとても危険であること。共感していくことで関わることのできる関係づくりができることが理解できた。ただ、それができるようになるのは、難しさを感じた。
- 第1～第2回も参加したかったです。密度の高いセミナーでした。
- 自身の行動を見つめ直す良い機会となりました。ありがとうございました。
- 山根先生の情熱が伝わる、とても心動かされる講演会でした。ありがとうございました。
- ひきこもり支援、アウトリーチの関わり方、まずは家族支援からという考えがとても学びになった。
- 関わりのかきかけとなる人に対しての介入だけでなく、身近な支援者（家族な

ど)への意識変容も当人が変わる重要なファクターであると解った。

- 宮崎にも家族会あるんでしょうか？ひきこもりの子供をもつ母親の方で、とても苦しんでいる方がいます。同じ状況の人たちで交流があれば、一人じゃないんだと思ってもらったり、情報交換の場としてとても、いいのではないかと思います。
- 社会的に意義深いセミナーと思った。社会実装が急がれると思った。
- 訪問看護に2ヵ月前より働くことになり、とても難しく感じるがありました。特に不登校児との関わりが苦手なため、今回参加しました。様々な事例や経験談を聞いて勉強になりました。ありがとうございました。
- 今回の研修も非常に参考になりました。ありがとうございました。
- 支援者として勉強会の重要性。「当人に決めさせる」事が大事だという事。「共感」の重要性。参考になる話が多く、後でメモを読み返そうと思いました。
- ヒキコモリについて、どうしても「先のばし」する人がいる。ヒキコモリについて、危機感を持ってほしいと思いました。
- とてもいい研修で学びが多かったです
- わかりやすい説明で、入りやすかった。
- 収穫となるお話を聞く事ができ、気付きが多かったです。ありがとうございました。
- イベント全体は、なごやかで、素晴らしいと思った。また、参加したいと思った。
- 山根先生の話をして直接聞いてとても参考になった。支援のあり方、関係性づくり、コミュニケーションスキル等を聞いて良かった。
- とても勉強になりました。
- 訪問看護、利用することで社会のつながりができていく、訪看の利用について改めて理解した。
- 家族支援、本人理解、支援者の関わり方を学ぶことができた。
- 勉強になりました。ありがとうございます。

4. 宮崎もやいの会へのコメント

- またボランティア等あれば参加したいです。本日はありがとうございました！
- いつもすばらしい研修会をありがとうございました。
- 主催者代表の「お互いがなくさめるだけの家族会」にならない世界を目指している！に感動しました。
- 今日、初めてもやいの会さんの存在を知りました。またHPも見てみたいと思います。
- ケアの実例・効果・評価・指標をガイドとして共有してもらいたい。
- 今後も研修会の企画等よろしくお願いします。
- 宮崎もやいの会、統合失調症、双極性、その他の精神病の障害者の側に立った催しものを企画して欲しい。
- ひきこもり支援に関われるところがあれば、研修に参加し理解を深め取り組んで

いきたい。

- とてもよい研修会でした。ありがとうございました。

